

立命館大学アート・リサーチセンター 展示企画

近代をのこす、つたえる

—立命館大学アート・リサーチセンター所蔵友禅図案資料群の整理と活用



2011年10月17日[月] ▶ 28日[金] 9:30—17:00

立命館大学アート・リサーチセンター 1F・閲覧展示室

【土日休室】 入場無料



【主催】文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」(立命館大学) 【共催】吉備国際大学大学院文化財保存修復学研究科／立命館大学文学部京都学プログラムCゼミ 【企画】京都文化研究班・木立研究室(担当:山本) 【企画協力者】鈴木英治(吉備国際大学大学院文化財保存修復学研究科教授)・法寺岡宏枝(アトリエ・スズキ)

アート・リサーチセンターでは、所蔵する友禅図案資料の整理作業と保存状況を展示・公開する2011年度アート・リサーチセンター展示企画「近代をのこす、つたえる—立命館大学アート・リサーチセンター所蔵友禅図案資料群の整理と活用」を開催いたします。

同センターは明治末期から昭和期の京都を中心に使用された西陣織や友禅染の図案、裂見本帳などを1万枚以上所蔵しています。文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」京都文化班木立研究室では、これらの資料の整理と研究をすすめてまいりました。資料の一部は展覧会への出品により一般公開し、またデジタル・アーカイブの構築をおこなっています。資料の整理にあたっては、昨年度より、鈴木英治吉備国際大学教授の指導のもと、学部学生による補修作業も開始しました。こうした資料の補修作業に学部学生が参加する例は全国的にも珍しい取り組みであります。

本展示会では、学部学生による図案の補修作業の様子を紹介し、構築中のデジタルアーカイブを公開します。同時に、修復技術を体験できるコーナーや、保存・修復技術に関する研究会を実施し、近代歴史資料の修復の過程にも触れていただきます。



関連研究会「大量近代資料の整理と活用」

【日時】2011年10月20日(木)18:00～20:00

【場所】アート・リサーチセンター 多目的ルーム

【参加】無料 【事前申込】不要

内容：一本学の整理作業について・近代(大量)資料の保存と活用の方法—

木立 雅朗(立命館大学文学部教授) ごあいさつ

山本真紗子(立命館大学衣笠総合研究機構ポストドクトラルフェロー)

「立命館大学アート・リサーチセンター所蔵友禅図案資料群について」

法寺岡宏枝(アトリエ・スズキ)

【実演】「立命館大学アート・リサーチセンター所蔵友禅図案資料群の保存システムの構築について」

鈴木 英治(吉備国際大学大学院 文化財保存修復学研究科教授)

「近現代大量資料の保存・修復方法の検討(仮)」

近代をのこす、つたえる

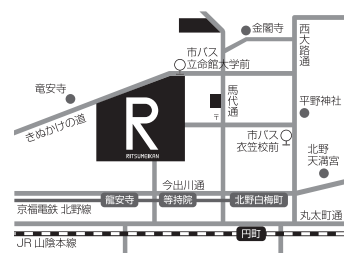
—立命館大学アート・リサーチセンター所蔵友禅図案資料群の整理と活用

2011年10月17日[月] ▶ 28日[金] 9:30—17:00

立命館大学アート・リサーチセンター 1F・閲覧展示室

【入場無料】

【土日休室】



【主催】文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」(立命館大学)

【共催】吉備国際大学大学院文化財保存修復学研究科／立命館大学文学部京都学プログラムCゼミ

【企画】京都文化研究班・木立研究室(担当：山本) [企画協力者] 鈴木英治(吉備国際大学大学院 文化財保存修復学研究科教授)・法寺岡宏枝(アトリエ・スズキ)

【問い合わせ先】立命館大学アート・リサーチセンター事務局 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL:075-465-3411(平日9時～17時30分)



e-mail: arc-jimu@arc.ritsumeai.ac.jp